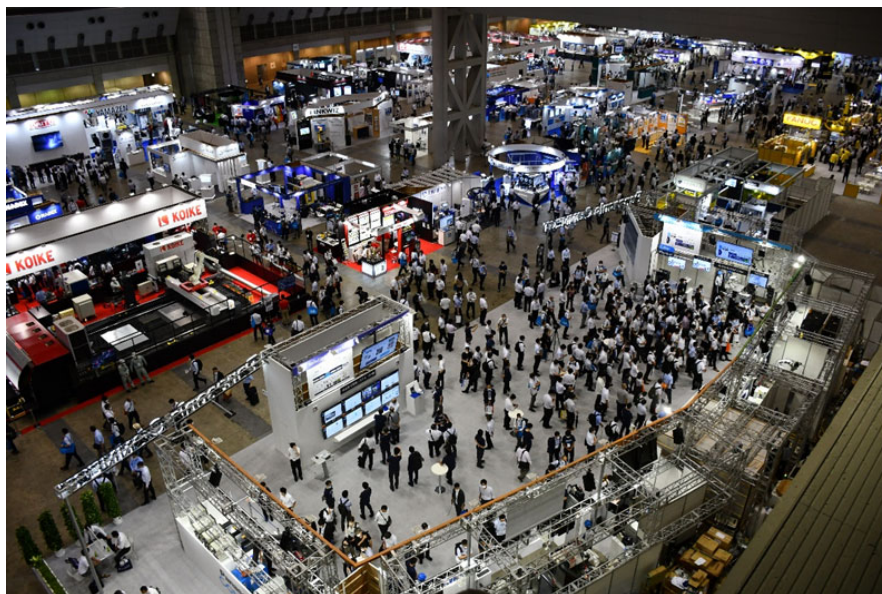


## 2024 国際ウエルディングショー 4月24日、インテックス大阪で開幕

**出展社数 300 社、大阪最大規模で開催へ  
人材育成、金属 AM が重要テーマに 溶接の未来を示す 4 日間**

溶接界のビッグイベント「2024 国際ウエルディングショー」(主催=日本溶接協会、産報出版)が4月24日(水)~27日(土)までの4日間、大阪府住之江区のインテックス大阪で開催される。出展社数は約300社・団体となり、コロナ禍で直前に中止となった前回2020年の規模を上回り、大阪では過去最大の出展社数となる。新規出展社が全体の23%を占めるに至ったほか、全出展製品の約25%がレーザ関連となった。専用ウェブサイト (<https://weldingshow.jp/2024>) では最新の情報を随時更新し、公開している。

同ショーは、新製品がいち早く発表されることと、ふんだんに実演が行われることが大きな特徴であると同時に、エンドユーザーの技術者層を中心に圧倒的な観客動員を誇り、技術ショーとして国際的にも際立った評価を得ている点も特筆されるポイントの1つに挙げられる。展示会場では、溶接・接合技術をはじめ、関連分野における最新の製品と先端溶接加工システム技術を一堂に結集し、商取引や技術習得、内外交流の場として活用する。



**図1 大阪では過去最大規模の約300社・団体が出展  
(写真は2022国際ウエルディングショー)**

2024 国際ウエルディングショーのメインテーマは「人・文化・技術をつなぐ溶接・接合、切断の新潮流—Weld-Being で環境負荷低減とDXに貢献—」(Weld-Being は良好な社会を実現する Well-Being の造語) となる。

現在、あらゆる産業で人手不足が深刻化しており、溶接界においても女性や外国人など非常に多様な人材が活躍している。このため溶接事業所においては様々な人材を受け入れるための「職場づくり」「環境づくり」が求められており、働き方改革のようなソフト面（文化）から、労力を軽減するための自動・ロボット化というハード面（技術）に至るまで幅広い取り組みが進められている。

今回の国際ウエルディングショーでは、出展社の新開発製品や技術を通してこれらの溶接現場が抱える課題の解決に繋がるような出展が期待されるとともに、溶接界のさらなる発展に向けて、若年者に対する「溶接の魅力の発信の場」としての役割にも注目が集まっている。

さらに、(1) 大阪ならではの地方色豊かなショーとする (2) 幅広い層から集客し裾野を拡大する (3) 工業高校生や大学生などの若年者を積極的に集客する (4) 人手不足への対応の4方針を掲げ、出展内容の充実を図っている。



**図2 新製品や新技術の発表や多くの実演が行われる。  
(写真は2022国際ウエルディングショー)**

また、大阪ならではの地域色豊かな展示会を目指し、様々な新企画を盛り込んでいる。

中でも関西地区の代表的な産業である造船、自動車の両産業分野に関する技術動向を網羅したセミナー「産業別セミナー（テクニカルセミナー）」を企画するほか、東大阪や堺、尼崎、姫路、栗東など関西を代表するものづくりの町とタイアップし、地元の金属工業組合やコンソーシアムの取り組み、会員企業を紹介するものづくりセミナー「集まれ100社！関西溶接ものづくりの底力」を設置する。

加えて、大阪大学接合科学研究所の先生方の協力による「より身近な溶接」をテーマとしたイベントを展開。溶接の楽しさを、広く一般の来場者にもアピールする「溶接・接合おもしろ館」も設置。全国溶接・接合技術研究者間ネットワーク「全国溶接・接合一道の駅」、トークショー「溶接・接合カフェ」、体験コーナー「スタンドグラスをつくってみよう」などの様々な企画を予定している。

さらに次世代の溶接教育ツールとしてVR（仮想現実）やAR（拡張現実）を使った溶接シミュレータが高い注目を集めているが、今回のウエルディングショーでは高校生溶接シミュレータ大会「高校

生 VR・AR 溶接王！」を開催。競技部門は、溶接経験者向け「溶接王！」と初心者向け「新人王！」の2部門を設ける。

これまで紹介した新企画などのほか、開幕記念講演、レーザ加工フォーラムや溶接体験コーナー、トレンドセミナーなどの既存企画も従来以上に充実した内容で展開する。

とりわけ、「レーザ加工フォーラム」は、レーザ加工に関する最新技術・製品の展示と、第一線の専門家による技術講演で構成され、一方、今回は話題の3D プリンターに関する最新技術・製品の展示会と、AMの最新技術・情報が集中的に展開される講演会から成る「AM World」を企画。また、西日本ならではの産業をクローズアップした造船・自動車・鉄骨の各産業分野および非破壊検査、コーティングに関する最新技術動向を講演内容とする「テクニカルセミナー」を新たに設定した。展示会場における出展製品・技術と講演会における技術解説により、最新技術・製品に対するより深い理解を得ることができる。レーザ加工フォーラムは、片山聖二氏（大阪大学名誉教授）、杓名宗春氏（最新レーザー技術研究センター）らによるレーザ加工技術の最新動向や今後の展望などの講演が行われる。AM World（AM 技術セミナー）では、基調講演に経済産業省素形材室長の星野昌志氏を迎え、各産業分野での実用化について講演、他にも第一線の AM 研究者・AM 技術者による最新技術講演だけでなく、これからの AM をテーマにパネルディスカッションを開催する。

開幕記念講演は、大阪大学理事・副学長の田中学氏による基調講演Ⅰ「溶接・接合が持続可能な発展を育む社会構築に果たす役割とは」、HILLTOP 相談役の山本昌作氏による基調講演Ⅱ「楽しくなければ仕事じゃない！—非常識な経営手法が企業と人を変える—」、岩谷産業取締役専務執行役員の福島洋氏による特別講演「水素エネルギー社会実現に向けてへの挑戦（仮題）」の3本を開催する。

出展社によるトレンドセミナーでは、最新の溶接技術はもちろんのこと、DX の応用、IoT、システム、ロボット関連などの最先端技術や新プロセスなどの技術を解説する。

なお、WE-COM マガジンで好評連載中のコミック「浪速博士の溶接がってん！R」を冊子化して、これまでのウエルディングショーで Vol.1～9 を配布してきたが、今回もその続編として Vol.10、Vol.11 の2冊を無償配布する。部数限定配布なので、ウエルディングショーに来場予定の方は、ぜひお早めに日本溶接協会ブースにお越しいただきたい。



図3 おなじみの「浪速博士の溶接がってん！R」が2冊無償配布される